

今を未来に

2学期、学校も残すところ後1日です。

一年間の中で一番長く、でも子どもたちが一番成長する2学期が終わろうとしています。22日の終業式の日には、連絡表を持ち帰ります。子どもたちは◎の数を気にしているようですが、数の問題ではありません。「学校から」の欄に書かれている担任からのメッセージをしっかりと読み、お子様と一緒にこの学期を振り返ってみてください。なお、連絡表の目標の中で音楽の「工夫する力」と「表現する力」の目標を少し整理させていただきました。(1・4年生は1学期から修正済みです。)'工夫する力'は歌唱で、「表現する力」は器楽で表現する技能を評価することで、どちらかでも得意であればそのことをお伝えできるように、変更をしました。一年の途中での変更については申し訳なく思いますが、ご理解ください。

命に関わる大きな事故もなく、無事に2学期を乗り越えることができそうです。保護者の皆様、地域の皆様、そして何より子どもたちの頑張りや成長に感謝しています。ありがとうございました。

【最近の出来事を振り返ってみました。】

3年生 大豆の収穫を見学 12月8日(月)「校長先生、この大豆持って帰っていい?」



天春文篤さんの畑で大豆の収穫を見せていただきました。大きなコンバインで一気に収穫する様子とそこから零れ落ちる大豆が気になって、少し気持ちが昂る3年生でした。機械を止めていただいて、刈り取る部分をよく見させていただき、最後は運転席にまで乗せていただきました。3学期に豆腐作りを計画していますが、ちょっとにぎやかな子どもたちを見て、「豆腐作りはできやんなあ。」と言われる山川さんは、優しい眼差しでみなさんを見てくださっていました。みなさんを大事に思ってくくださっているんだ

ね。しっかりと切り替えができる姿を見てもらえるといいね。美味しいおいしい豆腐ができることを、期待しています。拾わせていただいた大豆を大事そうに持ち帰るみなさんでした。家で豆の煮物などに变身しましたか? 収穫したばかりの大豆なのでとても柔らかくて美味しくなるそうです。



4年生 あかりアート開催 12月10日(水)

幼稚園の子からおうちの方まで来ていただいて、4年生によるあかりアートが開かれました。どんなアートになるのか楽しみにして、体育館へ見に行きました。体育館の中は暗くなっていて、しんとした空気が作られていました。そこに、4年生が図工で作った牛乳パックの燈籠が並び、あの本物の炎のゆらぎのようなライトが灯され、とても幻想的でした。校長先生は思わず覗き込んで見てしまいました。あのアート展が4年生みんなのアイデアの集まりであったことを図工だよりで知った時は、4年生の成長を感じました。ありがとう。

6年生携帯電話教室 12月16日(火) 小此木正信さんを群馬県からお呼びして



遠く群馬県から4時間もかけて、小此木さんは「携帯電話を通して犯罪から子どもたちを守りたい。」そんな思いで、この保々まで来てくださいました。小此木さんのお話は、インターネットで注意したいこと（個人情報を書き込まない、悪口を書かない、自分勝手は許されない、相手を100%信じない、文字だけのやり取りは誤解を招く）、ネット利用に必要な4つの力（判断力、自制力、責任能力、想像力）でした。文字コミュニケーションの怖さはとてもよくわかりました。携帯電話だから気を付けるというより、

人として守らなければならないこと、気を付けなければいけないことを教えていただいたように思いました。すでにネットやLINE利用で痛い思いをしている子がこの保々小にもいます。今日のお話が、話で終わるかどうかは、6年生のみなさん次第です。

1年生トライアルタイム大成功 12月16日(火) 保育園・幼稚園の子を招待しました。



約2か月間、この日のために、アイデアを出し合い、道具や材料を集め、時にはけんかもしながら準備をしてきました。お家でも子どもたちはいろいろな話をしていたようで、ご心配もおかけしたと聞いています。当日は冷たい雨の降る中、保々保育園・幼稚園の年長さんが傘をさして来てくれました。ちょうど一年前、招待してもらった嬉しさを思い出しながら、「だから今度は私たちの番。」と、頑張ることができたのでしょう。準備されていた各コーナーは手作りの良さが現れていました。やるね！1年生。

HEFナトア・クリストファー 12月16日(火) 最後の授業日でした。



4月からお世話になっていた外国語の先生「ナトア・クリストファー」がこの12月の終わりにオーストラリアに帰国することになりました。予定通りですが、あつと言う間の9か月間で、お別れするのは寂しいです。この後は、帰国するまでの間、少しですが日本を旅行されるそうです。いい日本での思い出を作って、帰ってもらいたいです。6年生は自己紹介を英語でスピーチしていました。ちょっとカッコいい6年生でした。お元気で！クリストファー先生

かけがえのない子どもたちのために いっしょに考えよう～いじめ問題～(保護者編)

本日、上記の見出しがついたリーフレットをお子様にお渡ししました。7年前にこのリーフレットの初版を作った仲間の一人として、今回改訂版が配布されると聞いて、なぜこのリーフレットが配られるようになったのかを思い起こしていました。その頃、いじめが原因で命を自ら断つという出来事が全国で起こったからです。「子どもたちの命を守りたい。」その一点の願いで作られたリーフレットです。どうか、じっくり時間をかけて、わが子を思い浮かべながら、じっくりと読んでください。「ああ、あの時読んでいれば。」と振り返ることがないようにしたいものです。